

2018年1月15日

第51号

# 全労連

全労連  
憲法・平和グループ

## 憲法 平和闘争ニュース

# 正念場の2018年がスタート 3000万人署名の大きな波を!

2018年がスタートしました。安倍首相は、年頭の記者会見で、今年じゅうの改憲発議への意欲を強く示しました。一方で、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名(3000万人署名)」行動も、年末・年始、各地で元気よく取り組まれています。憲法をめぐる激しいせめぎ合いの2018年です。

初詣宣伝、成人の日宣伝、9の日行動、どこでも「3000万人署名」が好評です。署名板を真ん中に、安倍首相への不満を激しく語る人、「安倍政権が戦争への道を進めている」と不安を語る人、「戦争だけはイヤだ」と語る人など、「対話になる署名」です。いま、憲法共同センターの「9の日チラシ」が好評です。新年用にカラーのデータを制作しました。どうぞ、ご活用ください。

### 自治労連 新年初の9の日宣伝、署名に加えカンパの協力も



1月9日、自治労連本部は新年最初の「9の日宣伝」を東京・豊島区の巣鴨地藏通り商店街でおこないました。昼前の時間に21人が参加。本部役職員6人がマイクを握り、「安倍9条改憲NO!3000万人署名」、「ヒバクシャ国際署名」への協力を訴えました。

弁士に立った猿橋均委員長は、安倍首相はじめ自民党がねらう9条改憲の狙いを述べて、「憲法9条は世界の手本であり宝です。日本を戦争する国にしてしまう大改悪は絶対に許してはいけません。改憲の国会発議のねらいを3000万人を超える署名の

世論で打ち破ろう」と訴えました。また松繁美和副委員長は「唯一、戦争で核兵器の被害を受けた日本こそ、核兵器禁止条約を批准し、核廃絶の先頭にたつべきだ」と署名を呼びかけました。

商店街には年配の買い物客が目立ち、署名をしながら問わず語りに「小学生の時に戦争体験した」「安倍首相は本当にこわい」と話す方や、黙々と署名した後に力強く「頑張ってください」と励ましてくれる方もいました。

1時間の行動で、「安倍9条改憲NO!3000万人署名」が22筆、「ヒバクシャ国際署名」が17筆、のべ39筆集まり、カンパも1400円集まりました。(自治労連より)



### 東京 新年大塚宣伝に62人が参加



1月9日、東京憲法共同センターは、2018年最初の9の日宣伝行動を大塚駅南口で行いました。11団体から62人が参加して3000万署名を呼びかけ、49人から署名を集め、チラシ650枚を配布しました。

この行動では、平山・CU東京副委員長、田原・東京自治労連副委員長、増子・年金者組合執行委員、色部・いの健東京センター副理事長、平田・東京平和委

員会理事、秋濱・東京民医連看護部副部長、今井・東京革新懇事務局長が弁士を務めました。安倍首相が新年から改憲発議を今年の通常国会・臨時国会で行い、国民投票も行うことを表明し、また北朝鮮問題を利用して新たな防衛力の強化について踏み込んだ発言をする情勢のもとで、「圧力による平和とは武力行使による紛争の解決にはかならない。安倍首相が国民の命と財産を危険にさらしている」「戦争立法をつくり憲法改定をすすめる道は戦費調達のために社会保障を削り、消費税を引き上げる道だ」「戦後最大の歴史的岐路、戦争する国にしないためにぜひ署名にご協力を」と訴えました。



むこうから署名用紙のあるテーブルに近寄って署名をしてくれた30代の女性は、北朝鮮の脅威があることを念頭に「子どもがいるから万が一が怖い。だからこそ憲法を変えてほしくない。これ以上（北朝鮮を）刺激しないでほしい」と話しています。

40代の警備会社の男性は、最初「自衛隊を書き込むのはいいことじゃないの？北朝鮮もミサイル攻撃をしそうだし」と話していましたが、「安倍さんが憲法に書き込むのは震災支援をした自衛隊とは別モノ。海外で戦争する自衛隊を容認しようとしているんですよ。北朝鮮が大国のアメリカを本気で攻撃すると思いますか？」などと対話をする、「解決方法は改憲じゃないね」と署名に応じてくれました。

「自衛隊を憲法に明記することによって自衛隊の活動範囲に歯止めがかかるのではないか」「すでに存在する自衛隊が憲法に位置付けられていない方がおかしい」などと考えている人とも対話になったのも特徴でした。（憲法改悪に反対する東京共同センター 憲法ニュースNo.384より）

## 京都 3団体で八幡市民アクション(仮)結成を確認、8日成人の日宣伝を呼びかけ



1月8日午後2時から京阪くずは駅前で、27名が参加して、安倍9条改憲に反対する宣伝と署名行動が行われました。

八幡市では年末12月27日に「安倍改憲NO！八幡市民アクション(仮称)」の事務局会議を開催し、「戦争をさせない1000人委員会・八幡」「八幡憲法共同センター」「八幡9条の会」の各会議や持ち回り会議で「安倍改憲NO！八幡市民アクション(仮称)」の結成がそれぞれの団体で了解されました。この確認をもとにすぐに可能な活動を共同で開始することとし、1月8日の成人の日に京阪くずは駅で宣伝署名行動を行う事を確認しました。また、「署名の共同目標を15,000

筆として団体ごとに集約する事」「呼びかけ団体・個人を募り調整する事」「会議や運営の持ち方、財政などについて具体化をさらに進める事」を確認し、「八幡市民アクション(仮称)」結成の集いを2月中旬に開催を行うこととしました。

成人の日の宣伝はあいにくの雨の中でしたが、「戦争をさせない1000人委員会・八幡」の石野共同代表・八幡憲法共同センター日名子氏・八幡9条の会田中世話人代表・新日本婦人の会八幡支部入江支部長がリレースピーチを行いました。新成人も着物姿で通る中、共同宣伝のスタート行動となりました。この日は、橋本から欽明台地域まで八幡市のほぼ全域から27名が参加し、雨の中署名が23筆集まりました。参加者は「八幡でも市民の共同がはじまった。頑張らなければ」と話していました。新成人も着物姿で通る中、八幡の共同行動のスタート行動となりました。（アクション・京都NEWS NO.6より）



## 京都 3000万人署名新春スタート街宣@左京&京都



安倍9条改憲NO! 署名集めを新春からダッシュよく開始しようと、左京市民アクションが「3000万人署名新春スタート街宣@左京&京都」「新成人おめでとう3000万人署名行動」を広く呼びかけ、約20名が参加しました。寒い雨風の中でしたが、岡崎・みやこメッセ成人式会場前に集まり、署名用紙を持って会場入り口で署名を一人一人に訴える人や、来場する成人にビラを渡す人などに分かれて行動しました。あまりに大勢の成人式参加者を前にして、最初なかなか署名が進みませんでした。一人が署名に応じ始めると、まわりの成人が集まって来て次々と署名をしてくれました。（アクション・京都NEWS NO.6より）

